



ボート 第100回全日本選手権・男子フォア 戸田中央総合病院 RC が日本一

今年で100回目を迎えたボート競技日本最高峰の大会「全日本選手権」が5月12日から15日の4日間、東京都江東区の海の森水上競技場で行われ、男子フォア（2000級）で戸田中央総合病院ローイングクラブ（小林、勝又、植竹、中曽根）が6分25秒81のタイムで4年ぶりの栄冠に輝いた。

今大会は、テクニクの優れたベテランの小林が舳手（バウ）を務め、クルーの舵取り役となる整調（ストローク）には今年チームに加入した中曽根を抜てき。エンジンの役割を果たす2番・3番にはパワー型の勝又・植竹を配置した。当日は強風で波が荒れる悪条件も「選手全体のレベルが上がった」と主将の勝又が語ったとおり、中曽根がリズムを作り、4人がシンクロの合った力強い漕ぎでレース中盤に他のクルーを一気に引き離した。

レースを振り返り、「このクルーはこれまでの競技人生で一番安心感があった」と中曽根。ベテランと若手による強固な信頼関係で掴んだ日本一の栄冠に大きな拍手を送りたい。



photo by 山田龍偉

全日本選手権・男子フォアを制した戸田中央総合病院 RC
（左から）小林雅人、勝又晋一、植竹寛弥、中曽根祐太